

北海道半導体人材育成等推進協議会

2024年度 第2回本会議

2025年3月7日

經濟産業省北海道經濟産業局

北海道半導体人材育成等推進協議会：2024年度事業の概要

- 北海道経済産業局は、半導体人材の育成・確保と半導体関連産業の取引活性化をテーマとして産業界、教育機関、行政機関等で構成する「北海道半導体人材育成等推進協議会」を2023年6月に設置。
- 人材育成・確保では、2030年度における道内半導体・電子デバイス関連企業の採用希望数670人（2023年度実績約241人の約3倍）を数値目標（改訂）として設定し、以下の人材育成・確保策を実施。
- 取引活性化では、2023年度に実施した半導体・電子デバイス企業と道内企業のビジネスマッチングを拡充。加えて、道内半導体産業のボトルネックである原材料や危険物等の物流について調査を実施。

北海道半導体人材育成等推進協議会（2025年3月7日時点：72機関）

産業界 37社

・半導体関連、人材派遣、金融機関
Rapidus(株)、ミツミ電機(株)、
(株)デンソー北海道、(株)SUMCO、
(株)アムコー・テクノロジー・ジャパンほか

教育機関 17機関

・道内の理工系高等教育機関を網羅
北海道大学、室蘭工業大学、北見工業大学、
千歳科学技術大学、旭川高専、ほか

経済団体・業界団体・行政 18機関

・事務局：北海道経済産業局
北海道経済連合会、北海道商工会議所連合会、
北海道機械工業会、北海道、千歳市、
札幌市ほか

人材育成・確保の取組

産学 の 接点 強化

実務家教員派遣

教育機関9校に対し14社・機関が24コマの講義等を実施（延べ2,276名受講）

工場見学

受入企業9社に対し、教育機関7校・学生95名、教員3名が参加

インターンシップ

企業のIS※プログラム強化に向けた講習会を開催。また、IS情報を教員から学生へダイレクトに周知する取組を実施。

参画機関主催の取組

各校のカリキュラム強化

若年層向け魅力発信事業

構成機関各社のPR支援

中途採用支援

取引活性化の取組

ビジネスマッチング

道内企業80社（前年比+2社）から163件（同比+47件）の提案があり、選考の結果23社が32商談を実施。

提案企業の新規発掘とマッチング精度の向上に向けて、ステップアップ形式で以下の取組を実施
①発注企業と提案企業を対象とした「事前交流イベント」 ②提案企業向け「エントリーシート記入講座」

半導体物流の課題調査

ヒアリング調査、検討会により、課題の整理、共同配送等の解決案を協議

サプライチェーンマップ更新

企業数 139社151事業所

目的

- ①道内半導体企業のサプライヤー発掘 ②道内中小企業の半導体産業への新規参入
- ③北海道進出を検討する企業の道内におけるパートナー発掘 など

※IS=インターンシップ

北海道半導体人材育成等推進協議会：構成機関一覧（72機関）

赤字は2024年度第1回本会議（2024年7月18日）以降に参画した機関

人材育成・確保WGは全機関対象。取引活性化WGは教育機関を除く全機関対象。

半導体関連企業	1	アクセリス・テクノロジー株式会社	人材派遣企業	30	株式会社アウトソーシング	経済団体・業界団体	55	北海道経済連合会
	2	アプライドマテリアルズジャパン株式会社		31	株式会社アルプス技研		56	一般社団法人北海道商工会議所連合会
	3	株式会社アムコー・テクノロジー・ジャパン		32	株式会社エイジェック		57	一般社団法人北海道機械工業会
	4	エーエスエムエル・ジャパン株式会社		33	日総工産株式会社		58	一般社団法人北海道新産業創造機構
	5	株式会社FJコンボジット		34	日研トータルソーシング株式会社		59	公益財団法人北海道科学技術総合振興センター(ノーステック財団)
	6	株式会社SUMCO		35	株式会社商工組合中央金庫		60	独立行政法人中小企業基盤整備機構北海道本部
	7	芝浦エレクトリック株式会社		36	株式会社北洋銀行		61	独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構北海道職業能力開発促進センター
	8	新光商事LSIデザインセンター株式会社		37	株式会社北海道銀行		62	地方独立行政法人北海道立総合研究機構
	9	株式会社管製作所	38	国立大学法人北海道大学	63	公益財団法人北海道中小企業総合支援センター		
	10	株式会社SCREEN SPE サービス	39	国立大学法人室蘭工業大学	64	一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）		
	11	セイコーエプソン株式会社	40	国立大学法人北海道国立大学機構北見工業大学	65	一般社団法人ミニマルファブ推進機構		
	12	株式会社セコニック	41	公立千歳科学技術大学	66	経済産業省		
	13	株式会社DNPエル・エス・アイ・デザイン	42	公立はこだて未来大学	67	文部科学省		
	14	デクセリアルズ フォトニクス ソリューションズ株式会社（DXPS）	43	育英館大学	68	厚生労働省北海道労働局		
	15	東京エレクトロンFE株式会社	44	北海学園大学	69	財務省函館税関		
	16	株式会社デンソー北海道	45	学校法人北海道科学大学	70	北海道		
	17	株式会社トッパン・テクニカル・デザインセンター	46	北海道情報大学	71	千歳市		
	18	トレックス・セミコンダクター株式会社	47	独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構北海道職業能力開発大学校	72	札幌市		
	19	ニデックS Vブロープ電子株式会社	48	独立行政法人国立高等専門学校機構	事務局	経済産業省北海道経済産業局		
	20	日本エー・エス・エム株式会社	49	函館工業高等専門学校				
	21	日本電波工業株式会社千歳テクニカルセンター	50	苫小牧工業高等専門学校				
	22	函館電子株式会社	51	釧路工業高等専門学校				
	23	パナソニックインダストリー株式会社千歳拠点	52	旭川工業高等専門学校				
	24	ミツミ電機株式会社	53	日本工学院北海道専門学校				
	25	メイビスデザイン株式会社	54	吉田学園情報ビジネス専門学校				
	26	株式会社メデック						
	27	ユニマイクロンジャパン株式会社						
	28	Rapidus株式会社						
	29	ラムリサーチ合同会社						

2025年3月7日時点
・企業名：五十音順、その他：順不同

北海道内の主な半導体・電子デバイス関連企業（35社・37事業所）

赤字は2024年度第1回本会議（2024年7月18日）以降に追加した企業

①札幌市

- (株)エクスプローラ 札幌デザインセンター／LSI設計
- 新光商事エルエスアイデザインセンター(株)／LSI設計
- 大熊ダイヤモンドデバイス(株)／ダイヤモンド半導体研究開発
- (株)DNPエル・エス・アイデザイン 札幌デザインセンター／LSI設計
- (株)トータルデザインサービス／LSI設計
- (株)トッパン・テクニカル・デザインセンター 北海道デザインセンター／LSI設計
- トレックス・セミコンダクター(株)
札幌技術センター／半導体デバイスの開発、設計、製造
- メイビスデザイン(株)／LSI設計

②恵庭市

- デクセリアルズ フォトニクス ソリューションズ(株)
恵庭事業所／光通信デバイス
- ユニマイクロンジャパン(株)／プリント配線基板

④七飯町

- (株)アムコー・テクノロジー・ジャパン 函館工場／半導体組立

⑤函館市

- (株)エクスプローラ／LSI設計
- 函館エヌ・デー・ケー(株)／水晶振動子、水晶発振器
- (株)セコニック 函館工場／EL製品
- 函館電子(株)／半導体組立・実装
- (株)メデック／半導体製造装置

⑥北斗市

- (株)菅製作所／半導体製造装置、研究用装置

⑬苫小牧市

- 日本イー・エス・エム(株)／半導体製造装置

⑦上砂川町

- デクセリアルズ フォトニクス ソリューションズ(株)
上砂川事業所／光通信デバイス

⑧奈井江町

- 釜屋電機(株) 奈井江工場／抵抗器

⑨三笠市

- 北海道オリジン(株)／ダイオード

⑩旭川市

- 東芝ホクト電子(株)／工業用マグネトロン

⑪上富良野町

- ニデックS Vプローブ電子(株)／半導体テスト部品

⑫帯広市

- パナソニックスイッチングテクノロジーズ(株)／自動車用リレー

③千歳市

- アクセリス・テクノロジー(株)／半導体製造装置

⑫ エーエスエムエル・ジャパン(株)／半導体製造装置

- (株)FJコンポジット／放熱板、双極材、絶縁回路基板

- (株)SUMCO千歳工場／半導体シリコンウェーハ

- (株)SCREEN SPE サービス／半導体製造装置メンテナンス

- セイコーエプソン(株) 千歳事業所／TFT液晶パネル

- (株)デンソー北海道／車載用センサー

- 東京エレクトロンFE(株)／半導体製造装置メンテナンス

- 日本電波工業(株) 千歳テクニカルセンター／水晶デバイス、光学機器

- パナソニックインダストリー(株)

- デバイスソリューション事業部千歳工場／積層デバイス

- ミツミ電機(株) 千歳事業所／アナログ半導体

- Rapidus(株)／ロジック半導体（2025年工場完成予定）

- ラムリサーチ (同)／半導体製造装置

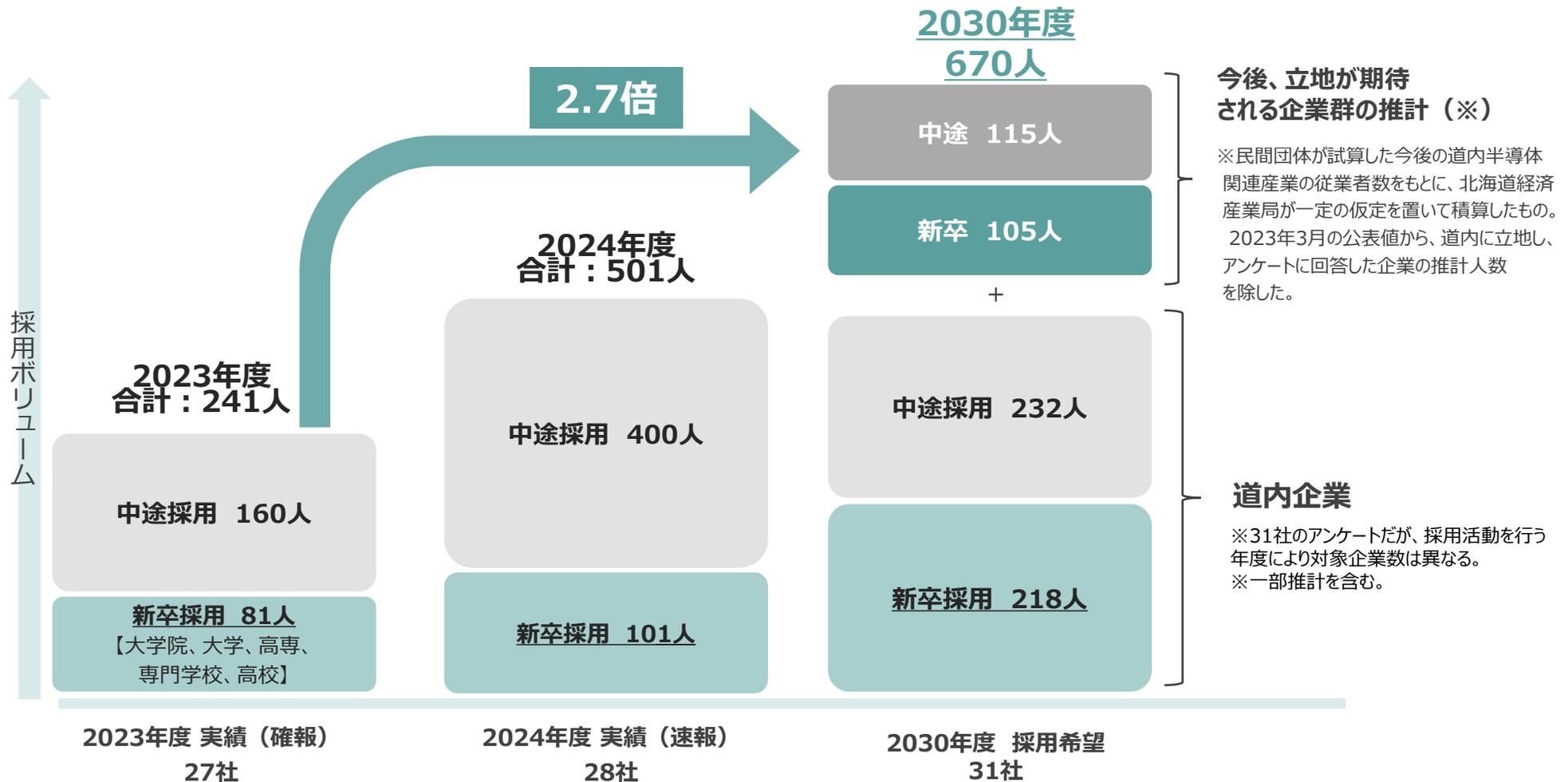
（出所）各社ウェブサイトをもとに、北海道経済産業局作成（2025年3月時点）

人材育成・確保ワーキンググループ

道内半導体・電子デバイス関連企業の人材採用数値目標（改訂）

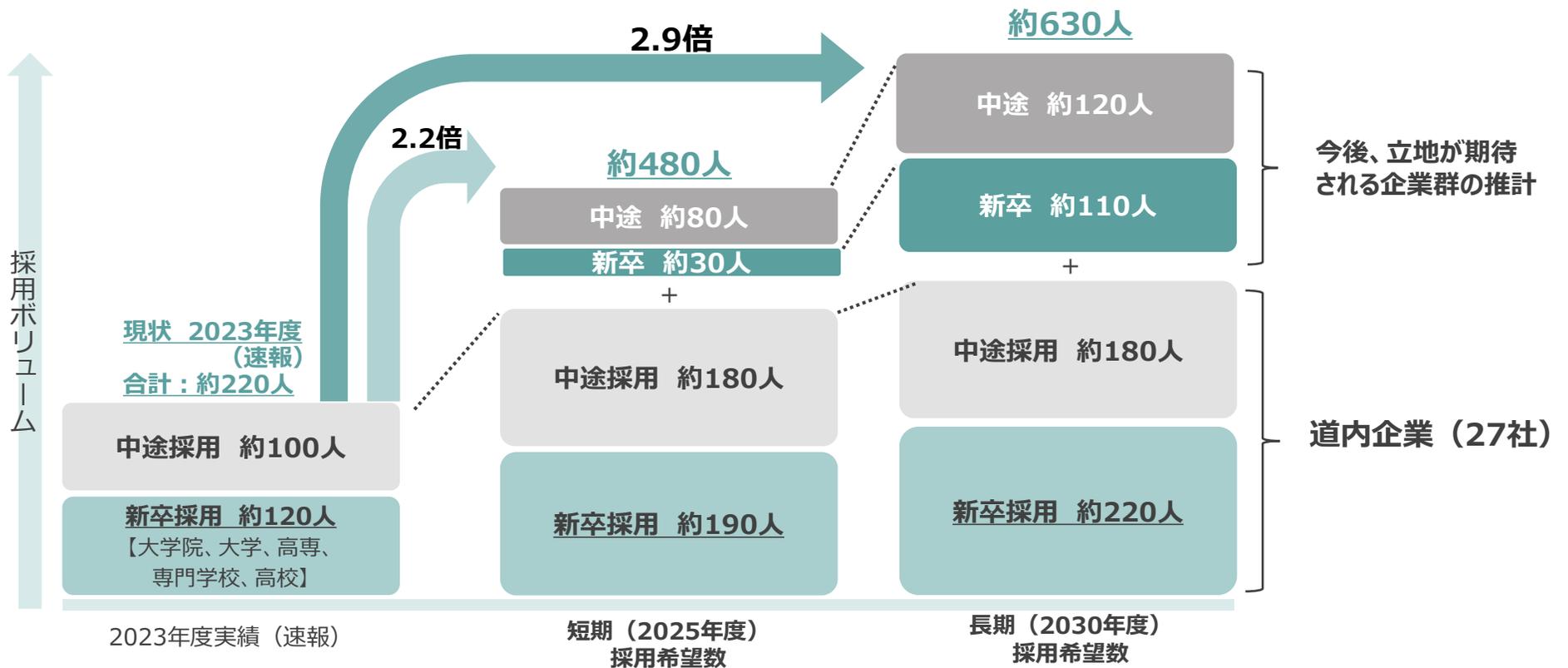
（道内の主な半導体・電子デバイス企業31社にアンケートを実施）

- 道内企業（27社）の**2023年度採用実績（確報値）**は241人（新卒81人、中途160人）となった。
- 道内企業（28社）の**2024年度採用実績（速報値）**は501人と2023年度比約2倍となった。
- **2030年度には、2023年度の241人に比して約2.7倍（670人）**となることが見込まれる。
- 新卒採用は増加が続き、中途採用は調整弁として変動。



(参考) 道内半導体・電子デバイス関連企業の人材採用数値目標 (2024年3月公表時)

- 2024年3月に公表した2023年度採用数の実績は、年度途中におけるヒアリングのため、速報値。
- 2025年度及び2030年度の採用希望数には、民間団体が試算した今後の道内半導体関連産業の従業者数をもとに、北海道経済産業局が一定の仮定を置いて積算した人数を上乗せ。



想定される職種：開発、設計、生産技術、工程・品質管理、機械保全、オペレーター 等

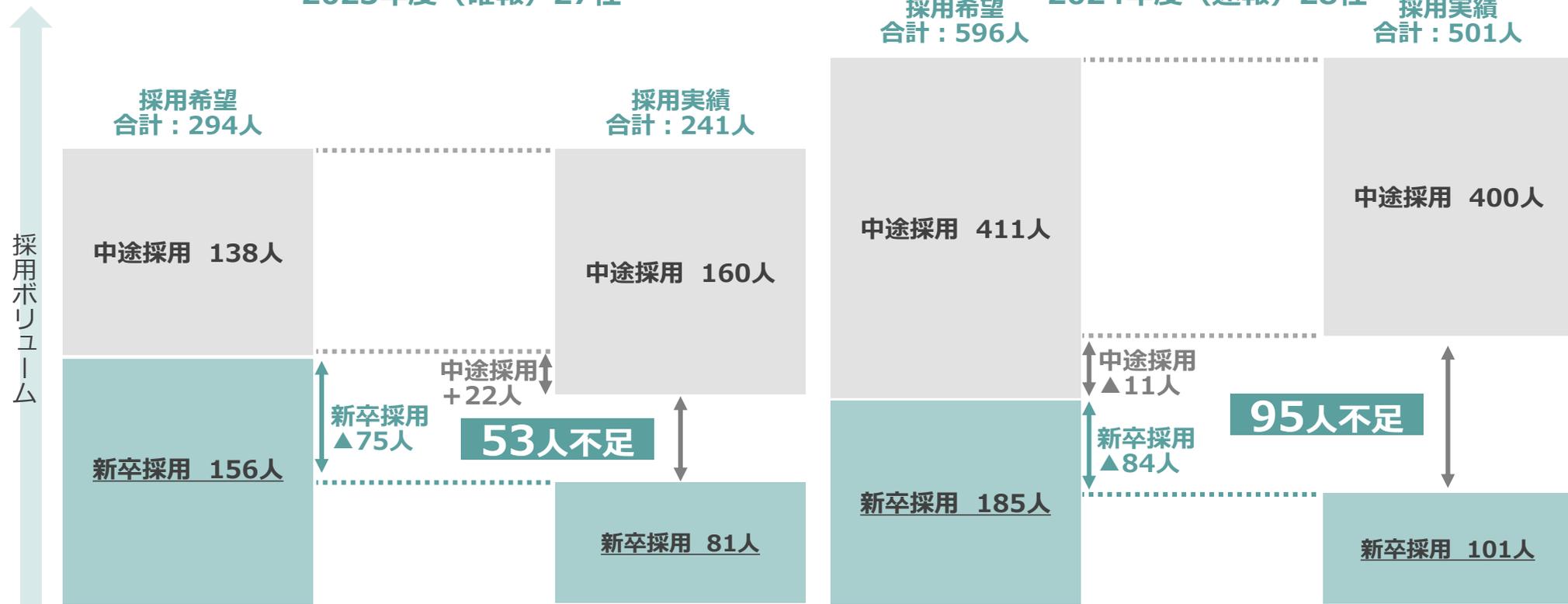
道内半導体・電子デバイス関連企業の人材採用希望数と採用実績数の差異（需給ギャップ）

- 道内の主な半導体・電子デバイス企業の2023年度（27社）及び2024年度（28社）における採用希望数と採用実績数を調査し、需給ギャップを可視化。
- 2023年度は、**新卒が75人不足**し、中途で22人多く採用することで**全体の不足数は53人**。
- 2024年度は、**新卒が84人不足**。中途は希望数に近いものの**11人不足**。全体では**95人不足**。
- 2023年度から2024年度にかけて**不足人数が42人増加**しており、**需給ギャップは拡大傾向**。

道内半導体・電子デバイス企業の採用希望数と採用実績数の比較

2023年度（確報） 27社

採用希望 合計：596人
2024年度（速報） 28社
採用実績 合計：501人



道内半導体・電子デバイス関連企業の職種別・学歴区分別人材採用データ

- 2023年度採用実績全体（新卒・中途／27社）における職種別では、生産技術32.4%、オペレーター31.5%、研究開発19.9%の順に採用が多かった。
- 新卒ベースでは、研究開発は大学院卒・大学卒、生産技術は大学院卒・大学卒・高専卒、オペレーターは高校卒の採用が多い傾向となっている。

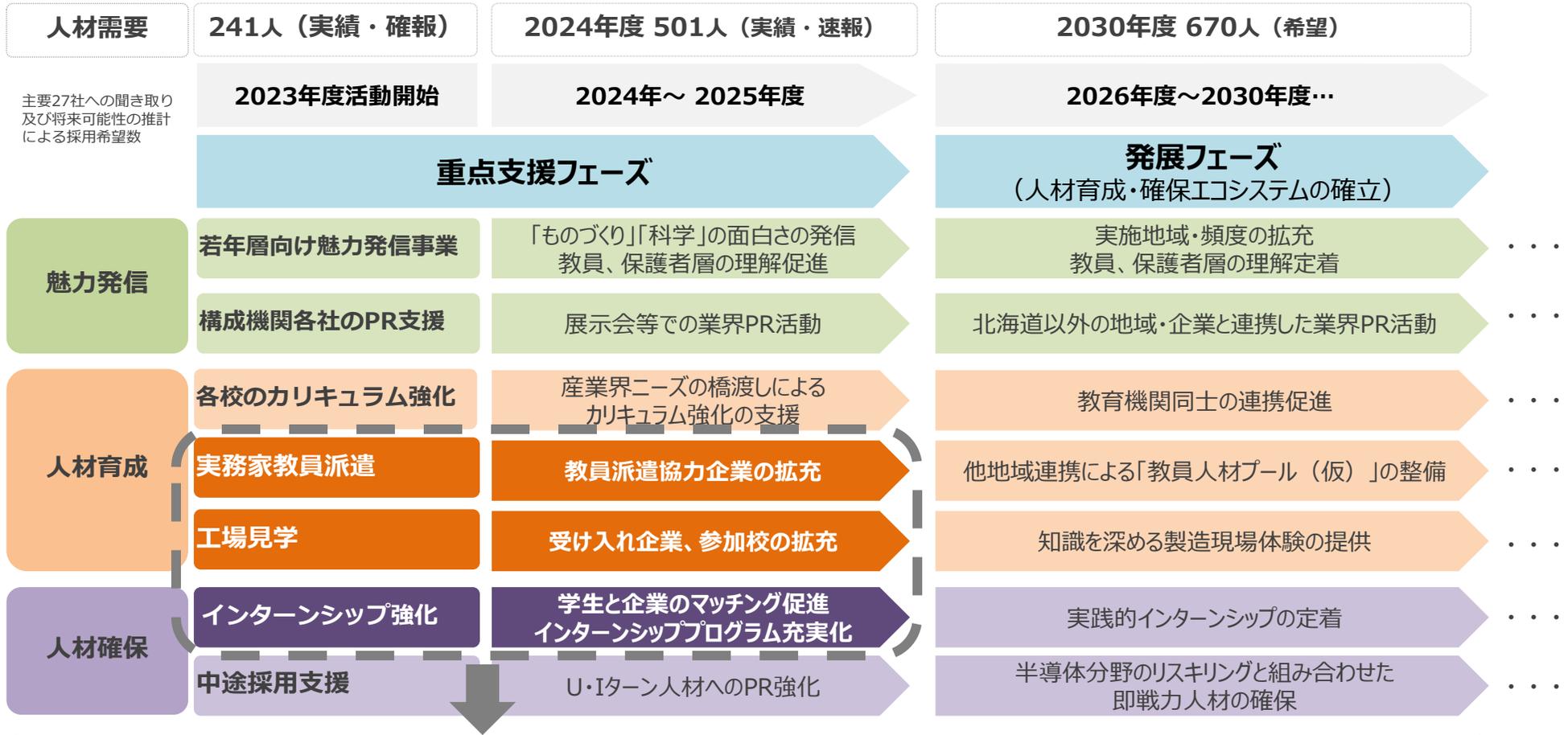
2023年度採用実績における職種別・学歴区分別採用データ

2023年度実績	大学院卒		大学卒		高専卒		専門学校卒		高校卒		新卒計		中途		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
オペレーター	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	41	17.0%	41	17.0%	35	14.5%	76	31.5%
生産技術	5	2.1%	5	2.1%	4	1.7%	0	0.0%	1	0.4%	15	6.2%	63	26.1%	78	32.4%
生産管理	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.4%	1	0.4%	12	5.0%	13	5.4%
品質管理	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.8%	2	0.8%	6	2.5%	8	3.3%
研究開発	6	2.5%	11	4.6%	3	1.2%	0	0.0%	0	0.0%	20	8.3%	28	11.6%	48	19.9%
技術営業	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
事務企画	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.4%	1	0.4%	10	4.1%	11	4.6%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.4%	0	0.0%	1	0.4%	6	2.5%	7	2.9%
合計	11	4.6%	16	6.6%	7	2.9%	1	0.4%	46	19.1%	81	33.6%	160	66.4%	241	100.0%

人材育成・確保ロードマップ

人材育成・確保の方針

2030年度までに、道内の半導体・電子デバイス関連企業への就職者数を、2023年度の採用実績 241人（新卒、中途）から年間670人（約2.7倍増）とするために、本協議会（産学官連携）で、人材育成・確保策の拡充を図る。



本協議会では、実務家教員派遣、工場見学、インターンシップ強化を重点項目として取り組む

人材育成・確保事業のコンセプト

- 2024年度は実務家教員派遣の対象校の拡大、学生向け工場見学の新規実施など、プログラムを拡大させることにより、「産と学の接点づくり」を拡充した。
- 今後、教育機関毎に半導体カリキュラムと協議会プログラムの連動性を高め、**低年次から就職年次までシームレスに「企業と学生の接点づくり」を行う**ことで半導体業界に対する学生の興味・関心や就業意欲の向上を目指す。

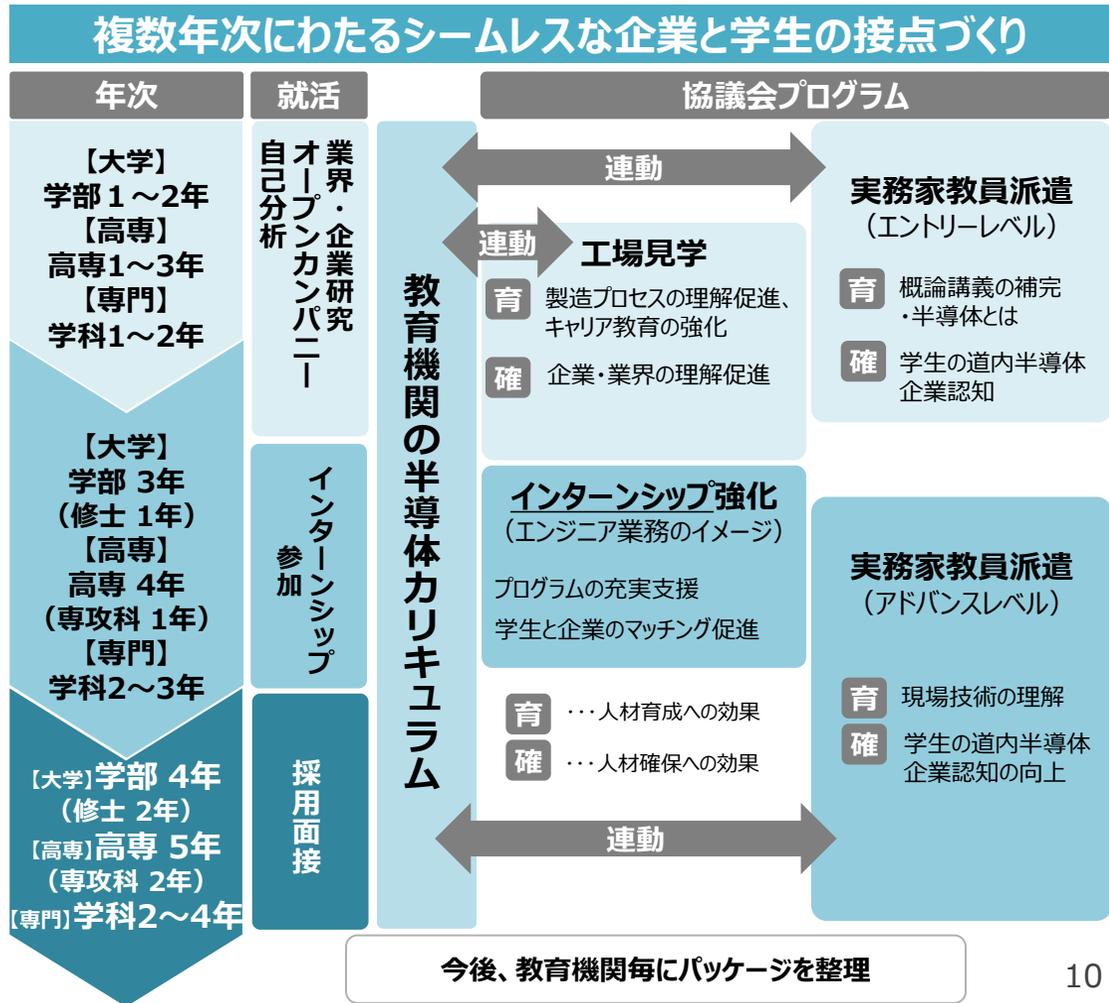
教育機関・産業界からの声

育成

- 座学で半導体を学んだ次のステップとして、**実務家教育派遣や工場見学**等で「ものづくり・半導体の現場」に触れる・学ぶ機会があると、**学生にとって大いに刺激になる**。教育効果を高めていく上でも極めて有効。【教育機関】
- 協議会が実施する各種プログラムについて、単発で実施するのではなく、教育機関が実施するカリキュラム（座学・実習等）と連動した**一連のパッケージとして展開**していきたい。【教育機関】
- 企業が有する知識や技術の提供など、学生の教育にプラスになることは、**企業側として惜しみなく協力**していきたい。【産業界】

確保

- 学生の就職に際し、「インターンシップ」の重要性が増している。半導体業界を就職先やインターンシップ先として志向する学生を増やしていくためには、**学生の年次が早い段階から、半導体業界に対する関心を高めていく様々な発信**を行っていく必要がある。【教育機関】
- 協議会の各種プログラムについて、**学生の就職活動のフェーズに沿った展開**を図っていくことで、人材確保の効果を更に高めることができるのではないか。【教育機関】
- 過去は教育機関と繋がりを有していたが、窓口となっていた教員の異動や退職等により、現在は関係が途絶えてしまっている。**教育機関や教員の方々との関係性を改めて構築**したい。【産業界】



プログラム実施結果（実務家教員派遣）

- 教育機関から多くの実施依頼があり、**教育機関9校において14機関が24コマ（延べ2,276名）を実施。**
- 受講生からは、人材育成・確保の両面において前向きな声が多数寄せられた。
- 今後の派遣機能の強化に向けて、実施した実務家教員や講義情報の一元化・ライブラリー化に取り組んでいくほか、全国の半導体人材育成コンソーシアムのコンテンツとも連携を図っていく。

年度	学校数	コマ数	受講生の声
2023	2校	6コマ	 <ul style="list-style-type: none"> • 実際に企業で働いている方のお話を聞ける機会は少ないので勉強になった。 • 半導体は難しいというイメージだったが、材料や製作過程を動画で見せてもらったため、わかりやすかった。 • 就職する前に企業を知るきっかけとしても非常に良い機会だった。 • 講義をしてくれた企業の中にインターンに行ってみたいと思う企業があった。
2024	9校	24コマ	

実施日	教育機関	派遣企業	講義名	対象	人数	内容
6月3日	北海学園大学	ノーステック財団	電子情報工学実験Ⅱ	工学部電子情報工学科 3年	61名	半導体製造プロセス
6月26日	苫小牧高専	産業タイムズ社	創造工学Ⅲ（1回目/全4回）	全専門系 3年	214名	半導体の基礎
6月28日	旭川高専	メイビスデザイン	エッジAI半導体の設計（1回目）	専攻科 1年	8名	エッジAI
7月3日	苫小牧高専	SUMCO	創造工学Ⅲ（2回目/全4回）	全専門系 3年	214名	半導体材料
7月10日	苫小牧高専	アムコー・テクノロジー・ジャパン (ATJ)	創造工学Ⅲ（3回目/全4回）	全専門系 3年	214名	後工程
7月16日	北海学園大学	産業タイムズ社	基礎演習	工学部電子情報工学科 1年	80名	半導体の基礎
7月16日	吉田学園情報ビジネス専門学校	ノーステック財団	教員向け講演会	教職員	20名	半導体の基礎
7月24日	苫小牧高専	ミツミ電機	創造工学Ⅲ（4回目/全4回）	全専門系 3年	214名	前工程
7月26日	旭川高専	メイビスデザイン	エッジAI半導体の設計（2回目）	専攻科 1年	8名	エッジAI
9月30日	日本工学院北海道専門学校	ノーステック財団、日総工産	半導体概論 特別講義	ITスペシャリスト科 1年～4年	14名	半導体産業動向 半導体製造プロセス
10月4日	北海道職業能力開発大学校	ノーステック財団 道内半導体企業	DX・IoT時代の半導体と 半導体産業の動向	応用課程（1年）、専門課程（2年）	160名	半導体産業動向 半導体製造プロセス
10月7日	道内4高専合同	ノーステック財団	北海道半導体みらい論（第9回）	道内4高専 本科生 1年～3年	350名	前工程
10月17日	北海学園大学	メイビスデザイン	半導体講演会（音響工学）	電子情報工学科 3年	50名	エッジAI
10月22日	北見工大	SUMCO、ノーステック財団	応用化学特別講義	大学院生（応用化学系）	40名	ウエハ製造プロセス、後工程
11月11日	道内4高専合同	Rapidus、ATJ、ミツミ電機	北海道半導体みらい論（第14回）	道内4高専本科生 1年～3年	350名	道内半導体企業紹介
12月3日～ 1月28日	旭川高専	ノーステック財団、SUMCO、 セイコーエプソン、DXPS、 日立ハイテク、富士電機	半導体概論 （実務者講義は計7回）	本科生 4年	28名	半導体製造プロセスなど
1月23日	吉田学園情報ビジネス専門学校	ノーステック財団	半導体概論 特別講義	情報システム学科 2年生	37名	半導体の基礎
1月28日	苫小牧高専	東京エレクトロン、調和技研	AI・データサイエンスⅢ	本科生 3年	214名	半導体産業におけるAI活用

プログラム実施結果（工場見学）

- 工場見学を7回実施（受入企業9社）。教育機関7校から学生95名、教員3名が参加。アムコー・テクノロジー・ジャパン、SUMCO、DXPS、トレックス・セミコンダクターではクリーンルーム内を見学。
- 参加した学生からは、製造工程について深く学ぶことができた、貴重な体験ができた、進路選択の参考となったという声があり、有意義な見学となった。
- 受入企業からは、学生に自社を認知してもらう機会となるため、今後も受け入れたいという意向を確認。

参加学生の声

- 製造工程について学んだ後にクリーンルームの中を見ることができて、大変貴重な経験になった。
- 工場での作業は単調になりやすいと思っていたが、従業員の方がみな生き生きとしてよい人間関係が築ける会社だと感じた。
- クリーンルームの見学は今後の進路を考える上で大きな参考になった。
- 研究室で使用している装置に近いものが用いられており親近感がわいた。
- 卒業生から仕事や会社の雰囲気について話を聞くことができて良かった。

年度	回数	企業数	参加人数
2023	2回	3社	30名 (教員)
2024	7回	9社	98名 (学生95名、 教員3名)

約3倍



実施日時・見学先企業

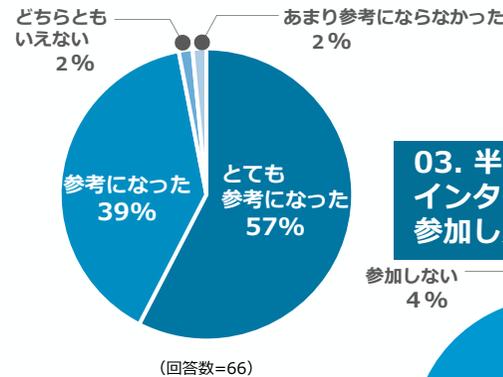
参加者

第1回 2024年8月27日(火) ①(株)SUMCO千歳工場(※) ②セイコーエプソン(株)千歳事業所	・北見工業大学(5名) ・釧路高専(1名) ・旭川高専(1名)
第2回 2024年9月25日(水) ①(株)SUMCO千歳工場(※) ②(株)DXPS恵庭事業所(※)	・北見工業大学(10名)
第3回 2024年10月15日(火) ①(株)アムコー・テクノロジー・ジャパン函館工場 ②(株)メデック	・函館高専 本科(30名)
第4回 2024年10月22日(火) ①(株)FJコンポジット ②(株)デンソー北海道	・苫小牧高専 本科(30名)
第5回 2024年10月29日(火) ①(株)アムコー・テクノロジー・ジャパン函館工場(※) ②(株)メデック	・函館高専 専攻科(7名)
第6回 2024年11月1日(金) ①(株)DXPS恵庭事業所(※) ②ミツミ電機(株)千歳事業所	・室蘭工業大学(11名)
第7回 2025年3月5日(水) ①トレックス・セミコンダクター(株)(※)	・北海道科学大学 教員(3名)

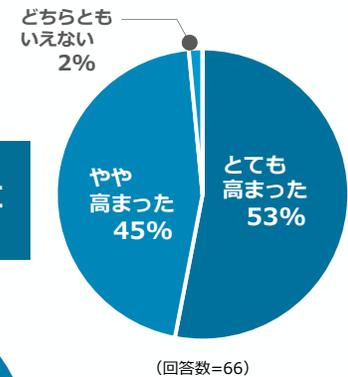
(※)は、クリーンルーム内も見学

参加学生へのアンケート結果

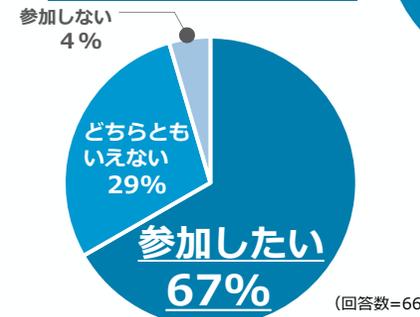
01. 参加した感想



02. 半導体企業に対する興味が向上したか



03. 半導体企業のインターンシップに参加したいか



プログラム実施結果（インターンシップ強化）

- 道内半導体関連企業が実施するインターンシッププログラムの内容を更に強化すべく、2024年6月「インターンシップ講習会」を開催（7社・13名参加）。全国における新卒採用の動向、インターンシップに対する学生ニーズの変化等、最新トレンドを紹介。
- 周知を希望した道内半導体関連企業5社のインターンシップ募集要項をとりまとめ、教育機関へ提供。各教育機関の理解・協力により、指導教員から学生にダイレクトにインターンシップ情報を周知。
- 企業からのヒアリングにより、一定の周知効果を確認。今後は、より効果的な周知方法を検討。

1. インターンシップ講習会概要（2024年6月13日オンライン開催）

講師：(株)ベネッセi-キャリアdodaキャンパス統括部長・編集長 岡本 信也 様

参加企業（7社）

(株)FJコンポジット、デクセリアルズ フォトニクス ソリューションズ(株)、(株)デンソー北海道、日本電波工業(株)、ミツミ電機(株)、メイビスデザイン(株)、(株)メデック

主な講習内容

1. 新卒採用の変化	2. 学生の経験・体験の変化	3. 効果的なインターンシップの実施
<ul style="list-style-type: none">大学3年4月には50%の学生が活動を開始大学3年の秋には60%近い学生が業界を絞っている。夏には90%の学生がインターンシップへ参加その内70%はインターン参加企業もしくは参加業界へ就職	<ul style="list-style-type: none">今の就活生は「入試制度」も「教育」も変化している世代「これだ！」と思えることを追求し、社会への貢献を重視キャリアセンターは夏のIS※1が天王山、という発信を強化大学の就職ガイダンス実施時期は大学3年4月が最多	<ul style="list-style-type: none">学生はISに双方向のコンテンツを求めている。ゲーム形式、フィードバックをもらえるグループワーク、社員の本音を聞ける少人数座談会等は学生の満足度が高い。自社が提供できることを並べてコンテンツを固める。

2. インターンシップ募集要項を教育機関へ提供

周知方法 各社の募集要項（企業情報、就業体験内容、交通費・昼食・宿泊費等）及び申込みページやHPのQRコードを記載し、電子データとして教育機関へ提供。指導教員やキャリアセンターから学生へ周知していただいた。

周知企業（5社）

(株)アムコー・テクノロジー・ジャパン、セイコーエプソン(株)、デクセリアルズ フォトニクス ソリューションズ(株)、(株)デンソー北海道、(株)メデック

周知による効果

- 道内からの参加は、2023年度3校3名から2024年度5校9名に増加し、定員を大幅に超える応募があった。
- 2023年度、道内からの応募はゼロだったが、2024年度は過去に申込みのない道内大学から2名が参加。

周知事例

令和6年度

北海道半導体・電子デバイス企業インターンシップ募集要項



株式会社アムコー・テクノロジー・ジャパン 函館工場

『高い技術力』と『徹底した品質管理』

国内売上 No.1！ 車載系半導体世界 No.1！ 半導体後工程を牽引する業界トップ企業！
当社は半導体製造の「後工程」に特化した専門メーカーです。
後工程とは設計・開発・前工程・後工程というプロセスの中、前工程でできた IC チップを最終製品として完成させる工程。
私たちアムコー・テクノロジーグループは、後工程専門メーカーとして世界トップクラスの売上シェアを誇っています。

ホームページ	ホームページ： https://amkor.com/jp/ マイナビ： https://job.mynavi.jp/26/pc/search/corp205279/outline.html リクナビ： https://job.rikunabi.com/2026/company/r644500074/	
--------	---	--

魅力発信 2024北海道ビジネスEXPO 北海道半導体産業ブース出展

- 北海道半導体人材育成等推進協議会は、道内最大級のビジネスイベント「2024北海道ビジネスEXPO」（事務局：ノーステック財団）に北海道半導体産業ブースを設置
- 本協議会に参画する半導体関連企業6社が出展。各企業のブースを製造プロセスに沿って配置することで、半導体に対する理解を深められる展示とした。
- 道内の大学、高専、工業高校計11校から学生1,113名を招待し、企業ブースを見学。多くの学生が企業の担当者から直接説明を受け、半導体の魅力を感じる機会を提供。
- 出展企業の一部の企業は学生向け企業説明会も実施した。

2024北海道ビジネスEXPO 日時:2024年11月7日～8日 会場:アクセスサッポロ 来場者数:21,262名

北海道半導体産業ブース出展企業

設計	ウエハ製造	前工程	後工程	先端半導体	光半導体
メイビスデザイン(株)	(株)SUMCO	ミツミ電機(株)	(株)アムコー・テクノロジー・ジャパン	Rapidus(株)	DXPS(株)

参加学生 (1,113名)

学校名	人数	学校名	人数
旭川工業高校	101	室蘭工業高校	94
小樽未来創造高校	35	旭川高専	170
札幌工業高校	137	苫小牧高専	134
札幌琴似工業高校	130	北海道科学大学	182
滝川工業高校	50	札幌市立大学	3
苫小牧工業高校	77		



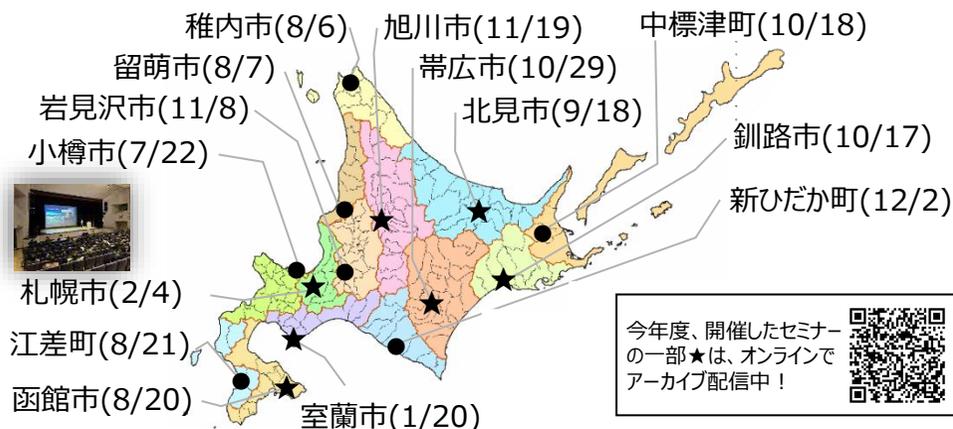
魅力発信／人材育成 北海道の主な取組

- 道は、魅力発信として、道民や高校教員等向けセミナーの開催、若年層向けアニメ動画の提供を行うほか、人材育成として、高校向け出前講座、小中学校向け体験教室、学生向け企業見学バスツアーを実施。

魅力発信

①道民向けセミナーの開催

半導体や半導体関連産業への理解を深めるため、全道14振興局管内で、道民向けセミナー「次世代半導体とほっかいどうの未来」を開催。



②高校教員等向けセミナーの開催

高校教員等が先端半導体に関する理解を深め、本道産業構造の変化に対応した指導の充実を図り、半導体人材育成の取組を推進するため、セミナーを開催。

〈セミナー〉
 ・日時 : 2025/1/14
 ・会場 : オンライン

③若年層向けアニメ動画の提供

若年層の認知度・関心の向上を図るため、「サイエンスパーク」において、半導体アニメ動画を放映。

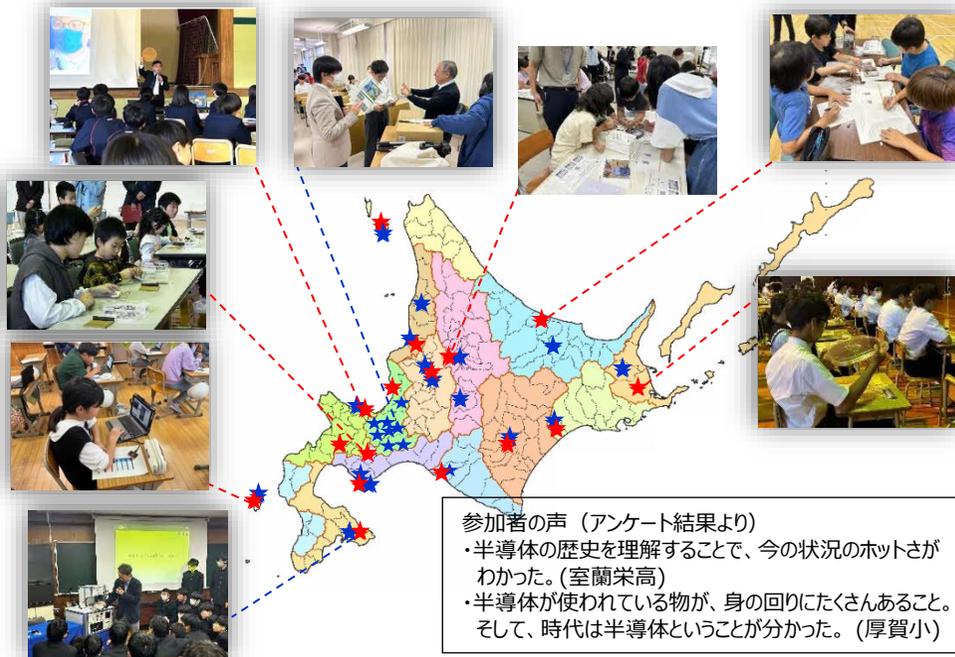


〈サイエンスパーク〉
 ・オンライン : 2024/7/1～
 ・会場 (北海道大学) : 2024/8/9

人材育成

①高校生を対象とした出前講座、小中学生を対象とした体験教室の実施

半導体を中心とした理系分野に興味を持ってもらうため、道内の高校(★)向け出前講座を25校・小中学校(★)向け体験教室を16校で実施。



参加者の声 (アンケート結果より)
 ・半導体の歴史を理解することで、今の状況のホットさがわかった。(室蘭栄高)
 ・半導体が使われている物が、身の回りにたくさんあること。そして、時代は半導体ということが分かった。(厚賀小)

②学生向け企業見学バスツアーの実施

ものづくり人材の確保・育成のため、高校、高専等の学生を対象に、半導体関連企業を含むものづくり企業見学バスツアーを実施。

<R7主な事業(予定)>

- 道民向けセミナーの開催 ●高校教員等向けセミナーの開催 ●高校生を対象とした出前講座 ●小・中学生を対象とした体験教室 など

魅力発信／人材育成 札幌市の主な取組

- 札幌市は、市内の教育機関や企業等と連携し、半導体関連分野の将来を担う人材の育成に向けて以下の取組を実施。

【小中学生】勇者シリコンの大冒険 ～半導体ダンジョンを攻略せよ～

ゲーム感覚でクイズやミニトークショーに参加してもらいながら、半導体が身近な存在であることを知ってもらうための企画展を開催

- 日 時: 令和7年1月5日～19日
- 会 場: 札幌市青少年科学館
- 企画監修: 北海道大学
山本強名誉教授
- 協 力: 北海道大学、千歳科学技術大学、北海道半導体人材育成等推進協議会 等



【高校生】東京エレクトロン デジタル デザイン スクエアで半導体を学ぶ

半導体関連産業や技術に対する理解促進とキャリア教育を目的に、講義やグループワークを実施

- 日 時: ①令和6年10月28日
②令和7年3月7日予定
- 会 場: TEL デジタル デザイン スクエア
- 参加校: ①札幌開成中等教育学校
②札幌旭丘高等学校
- 講義概要
半導体とは何か、用途、製造工程、半導体業界、各国シェアなど
- グループワークテーマ
2040年には半導体技術が発展して○○になる、もしくは○○ができる

【大学生】北海道大学「半導体WEEK」 ・札幌市共同企画講演会 半導体は社会に何をもたらすのか

著名なゲストによる講演や、「ミニマルファブ」を導入した半導体製造プロセスを学ぶワークショップを実施

- 日時: 令和6年8月6日
- 会場: 北海道大学 クラーク会館
- 主催: 北海道大学、札幌市
- 協力: 北海道半導体人材育成等推進協議会
- プログラム
・講演 「半導体の地政学」、「北海道目線から見た半導体産業」 等
・半導体製造 ライブ中継 & デモ 「ミニマルファブ」



① 北海道大学⇄横河アプリケーションラボ ライブ中継



① フォトリソグラフィ工程の実演

魅力発信 北海道次世代半導体フェアinエスコンフィールドHOKKAIDO

- 北海道労働局は、学生・教員等向けに半導体関連企業の合同説明会・業界研究として「北海道次世代半導体フェアinエスコンフィールドHOKKAIDO」を開催

開催日時

令和6年11月16日(土) 11:00~16:30

開催場所

エスコンフィールドHOKKAIDO
1F「F NEOBANK GATE」

プログラム

- 企業担当者による企業概要等の説明・PR
- 半導体って何だろうコーナー(北海道、千歳市)
- ハローワークによる職業相談

参加企業

道内関連の半導体関連企業 23社

対象者

- 全ての生徒・学生(学年・学科不問)及び教員・学校関係者・保護者
- 概ね35歳未満の方
- その他、半導体業界に興味・関心のある方

実施結果

参加者	企業ブース来訪者
161名	354名(延べ)

北海道 Semiconductor x HOKKAIDO BALL PARK F VILLAGE
Semiconductor Company Information Session & Interview
次世代半導体フェア
in エスコンフィールドHOKKAIDO

2024年11月16日(土) 11:00~16:30 (最終入場 16:00)

会場 北海道Fビルディング敷地 エスコンフィールドHOKKAIDO 1F F NEOBANK GATE

参加無料 入場自由 予約不要

■対象者
 ・高校・大学(短)、高専、短大、専門学校及び職業能力開発校に在学する全ての生徒・学生(学年問わず)及び教諭・学校関係者の方
 ・概ね35歳未満の若年求職者の方
 ・その他、半導体業界に興味・関心のある方

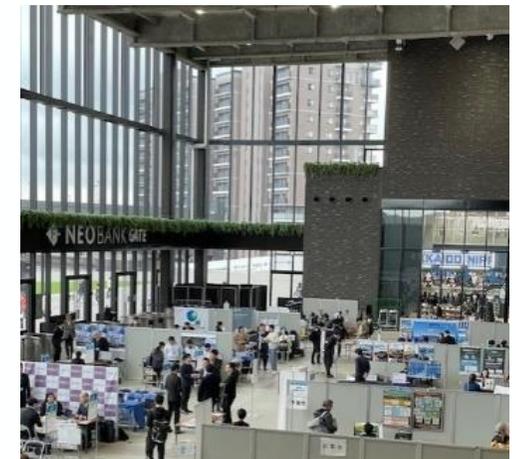
■実施内容
 ・企業担当者による企業概要等の説明・PR
 ・「半導体って何だろう」コーナー(予定)
 ・入場予約不要
 ・予約なしに当日参加可です

お問合せ
 札幌新卒応援ハローワーク
 ☎011-233-0222

主催 厚生労働省北海道労働局 札幌新卒応援ハローワーク
 後援 北海道 協力 北海道半導体人材育成推進協議会

北海道次世代半導体フェア参加企業 (50音順)

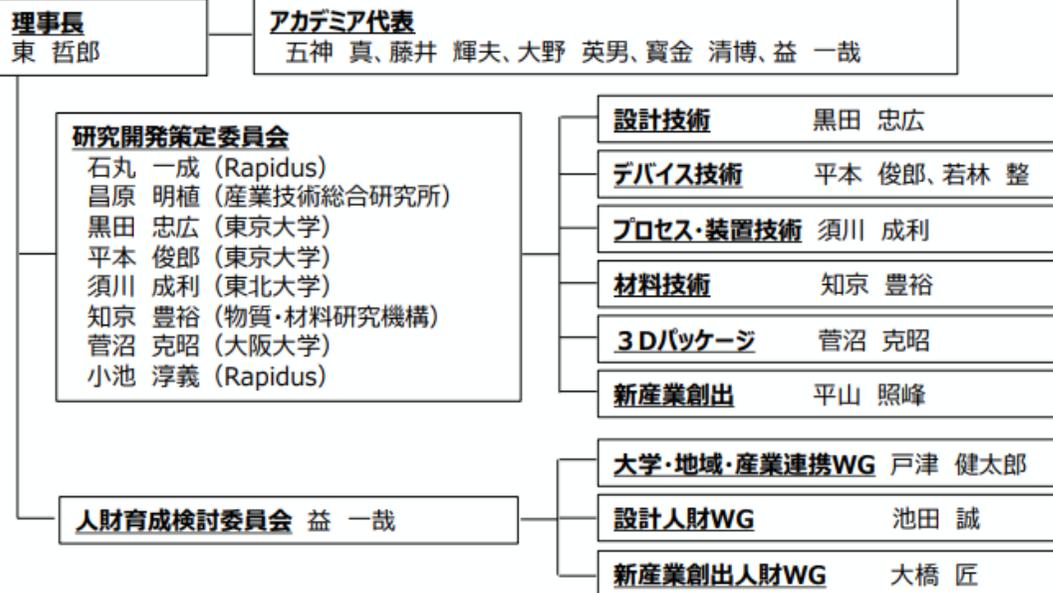
株式会社 アットマークテクノ 電子デバイス開発・製造(CPUボード等)/札幌市	株式会社 アルファス計装 工場設備(産業空調設備の設計・施工)/宮城県
株式会社 アルプス技研 アウトソーシング(開発・設計)事業等/札幌市	株式会社 FJコンポジット 半導体電子材料の開発・製造等/千歳市
釜屋電機 株式会社 電子デバイス開発・製造(チップ抵抗器等)/奈井江町	興研 株式会社 工場設備(オープンクリーンルームシステム)/札幌市
ジャパマテリアル 株式会社 工場設備(特殊ガス供給設備の設計・施工)/三重県	新光商事LSIデザインセンター 株式会社 LSI設計・開発/札幌市
株式会社 蓄製作所 半導体製造・関連装置の開発・製造/北斗市	株式会社 SCREEN SPEサービス 半導体製造・関連装置の開発・製造/東京都
大陽日酸エンジニアリング 株式会社 工場設備(ガス供給設備の設計・施工)/神奈川県	デクセリアルズフォトリソソリューションズ株式会社 光半導体デバイスの開発・製造/恵庭市
株式会社 トータルデザインサービス LSI設計・開発/札幌市	株式会社 トップラン・テクニカル・デザインセンター LSI設計・開発/札幌市
内外エレクトロニクス 株式会社 半導体製造装置の組立・設置等/千歳市	ニデックSVブロープ電子 株式会社 半導体製造・関連装置の開発・製造/上富良野町
日本イー・エス・エム 株式会社 半導体製造・関連装置の開発・製造/東京都	Nova Measuring Instruments 株式会社 半導体製造装置の開発・製造/東京都
北海道日興電気通信 株式会社 電子機器の組立配線・プリント基板の製造/千歳市	ミツミ電機 株式会社 アナログ・パワー半導体の開発・製造/千歳市
ユニマイクロンジャパン 株式会社 電子デバイス開発・製造(プリント配線基板)/恵庭市	Rapidus 株式会社 ロジック半導体の開発・製造/東京都
ラムリサーチ 合同会社 半導体製造・関連装置の開発・製造/神奈川県	*道内に事業拠点がある企業です



LSTCとは

- 次世代半導体の量産技術の実現に向けた研究開発拠点として「技術研究組合最先端半導体技術センター（Leading-edge Semiconductor Technology Center (LSTC)）」が2022年12月に設立。
- 研究開発においては、研究開発策定責任者委員会にて、**国内外の産業界のニーズを基に、次世代半導体の設計・製造に必要な研究開発テーマ**を策定。各研究開発部門にて、**国内外の企業・研究機関と連携しながら、次世代半導体に資する研究開発**。今後必要と考えられる研究開発については、**ロードマップを作成**するとともに、**米NSTCや欧州研究機関にも共有**し、さらなる連携強化を図る。
- 人材育成においては、**オールジャパンで半導体人材育成に取り組むための旗振り役**として、**人材育成検討委員会及び3つのワーキンググループを設置し、国内外の関係機関との連携を強化し、その取組の具体化を検討**。次世代半導体の設計・製造基盤を担う**プロフェッショナル・グローバル人材の育成**や主に**地域単位の取組が担う技術・技能系人材の育成**を目指すとともに、**次世代半導体の需要となる新産業の創出**を目指す。
- 社会実装を意識した研究開発や産業界からのニーズを人材育成の取組により取り込むため、**組合員等への参加を通して民間企業の参画を強化**。

LSTC 技術研究組合 最先端半導体技術センター Leading-edge Semiconductor Technology Center



組合員及び準組合員※2024年11月時点



LSTC人材育成検討委員会

- LSTC人材育成検討委員会は、オールジャパンで取り組む半導体人材育成の旗振り役となるため、「大学・地域・産業連携WG」、「設計人材WG」、「新産業創出人材WG」の3つのワーキンググループを組成し、現状と将来の双方の観点から必要な人材を検討し、人材の育成・確保に取り組む。
- 半導体業界に今後必要な人数を把握し、現状とのギャップを埋めるための具体的な施策の検討や、アカデミアでの活用を想定した標準スキルマップの整理など、短期・中期・長期の時間軸を意識した取組を検討・実施することが重要。

		座長	役割	主な取組
人 財 育 成 検 討 委 員 会 委員長 益 一哉	大学・地域・産業連携WG	戸津 健太郎 (東北大学)	大学・高専、地域、産業界などの相互の連携構築と強化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域コンソや構成団体が拠点とする地域を超えて連携するためのサポートを実施 ・ 今後想定される半導体関連人材の必要人数の試算、不足人数への具体的な施策の検討・実施 ・ アカデミアにおける半導体関連カリキュラム検討のベースとなる標準スキルマップの検討 ・ 引き続き地域コンソーシアムの取組及び業界団体や研究機関等の独自の取組を把握し、優良な先行事例の他地域への横展開や各地域内で足りないリソース・コンテンツ等の融通等のコーディネートを検討
	設計人材WG	池田 誠 (東京大学)	高度半導体設計に資する人材育成プランの策定と実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ Tenstorrentと連携して取り組むNEDOプロジェクトの実施及び今後我が国に必要な設計人材育成確保に向けたプロジェクト（取組、プログラム）の検討・遂行（実施） ・ アカデミアにおける半導体設計に係るカリキュラム検討のベースとなる標準スキルマップの検討 ・ 実習を含めた教育環境整備の検討 ・ 地域コンソーシアムにおいて設計人材育成活動への強化・支援
	新産業創出人材WG	大橋 匠 (東京科学大学)	新産業の検討に基づく人材育成プランの策定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 起業家、アカデミア、VC、メディア、省庁など多様な業種へのインタビューを通して新産業創出人材を育成するためのエコシステムの検討 ・ 新産業の検討に基づくユースケースの検討 ・ 海外の教育機関や産業界との連携構築

人材育成・確保WG 2025年度の実組方針（案）

2024年12月WG及びヒアリングによる主な意見

- 低年次からのシームレスな教育で半導体への興味、関心、理解を高めることが重要。
- インターンシップ前年までに企業を認知する機会があると良い。
- 道内半導体企業のインターンシッププログラムが事業内容別に整理されると良い。
- インターンシップでエンジニアの日常業務を知ることが重要。
- 実務家教員派遣や工場見学のコンテンツを一覧から選択できると良い。

取組方針案 1. 各大学・高専の教育プログラム×協議会コンテンツの組み合わせ強化

1

複数年次にわたるシームレスな育成コンテンツの提供

各教育機関と年間の半導体教育プログラムに実務家教員派遣・工場見学等のコンテンツをどのように組み入れるかを検討。低年次向けコンテンツの充実、インターンシップ前年次までの道内企業認知機会（親子企業説明会、学内セミナー&企業説明会等）の創出を推進。

2

インターンシップの周知強化

インターンシップの周知を希望する企業の概要や体験できるプログラムを事業内容別（設計・前工程・後工程・電子デバイス製造等）に整理し、パッケージ化。
実務家教員講義や工場見学に参加した学生にインターンシップ情報をダイレクトに周知。

3

共通プログラムの整備

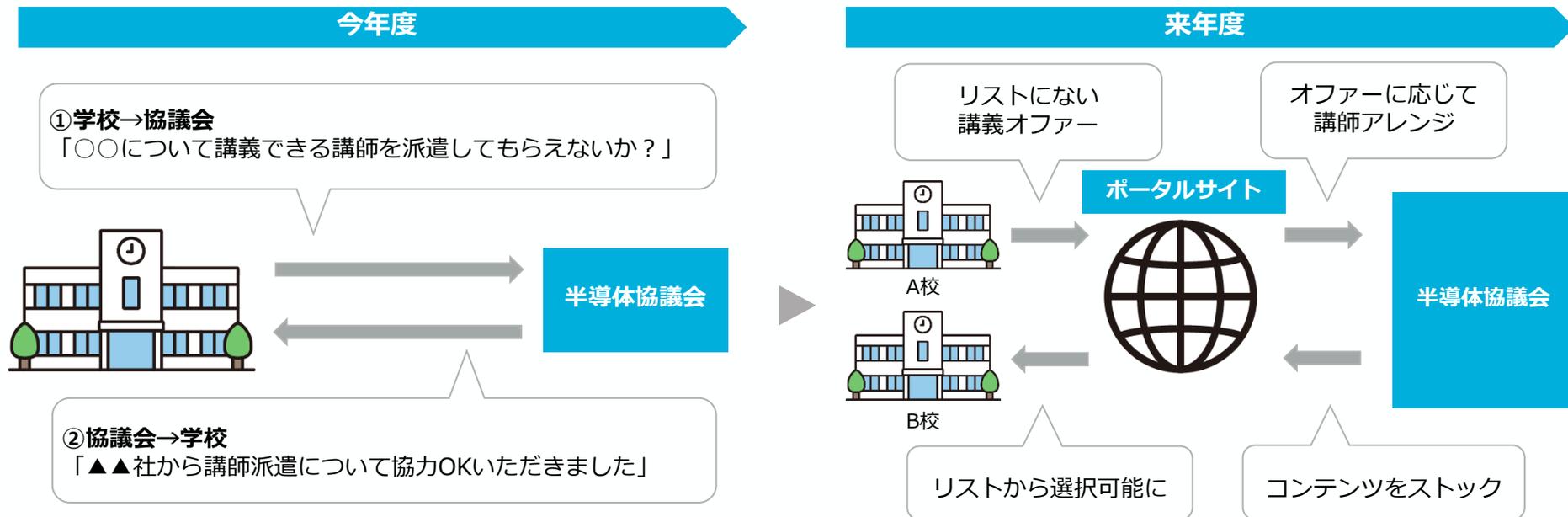
北海道大学を中心として道内の教育機関が活用できる半導体教育共通プログラム整備に向けた検討を開始。
共通の講義や実習等を整備することで、道内における人材育成の強化・加速を図る。

人材育成・確保WG 2025年度の取組方針（案）

取組方針案 2. 協議会コンテンツの利活用促進（協議会コンテンツの一元化）

- 現在は、各教育機関からのオーダーに基づき、事務局が実務家教員派遣・工場見学等のコンテンツをオーダーメイドでアレンジ・提供する「プル型」のルートのみ。
- 来年度以降は従来の「プル型」のルートに加え、コンテンツを一元化することで教育機関側から必要なコンテンツを選択できる「プッシュ型」のルートも整備することで、協議会コンテンツの更なる利活用を促進。
- 具体的には、実務家教員派遣・工場見学・インターンシップ情報のコンテンツを一元化したポータルサイトを構築するなどの環境整備を想定。

※他地域では、学生がポータルサイトから半導体企業のインターンシップに申込みができる例も存在。



人材育成・研究開発等の取組 北海道・札幌市・千歳市

- 道・札幌市・千歳市は、北海道大学、公立千歳科学技術大学、ラピダス社等と連携し、半導体の製造、研究、人材育成等が一体となった複合拠点の実現に向け、人材育成と研究開発を一体的に推進（地方大学・地域産業創生交付金を活用）。

◆ 次世代半導体をトリガーとした半導体の複合拠点の実現と地域経済の活性化

事業の趣旨

- 「北海道半導体・デジタル関連産業振興ビジョン」でめざす、半導体の製造、研究、人材育成等が一体となった複合拠点を實現し、その効果を全道へ波及させて地域経済の活性化を図るため、**産学官が連携し、人材育成・研究開発の拠点を整備し、半導体人材の育成、ラピダスをはじめとする道内半導体企業との研究開発、半導体エコシステム構築**に向けた取組を強力に推進

事業期間・事業費

事業期間：R7(2025)～R15(2033)年度
事業費：(R7) 731,767千円

推進体制

- 北海道・札幌市・千歳市が、北海道大学・公立千歳科学技術大学と連携し、各事業を推進



事業内容

人材育成

- 北大で学部から大学院まで一貫した半導体教育を行い、半導体を「つくる人材」「つかう人材」を育成
- 北大で構築した半導体教育プログラムを道内他大学・高専へ提供し、半導体人材育成体制を全道へ波及

教育研究拠点整備

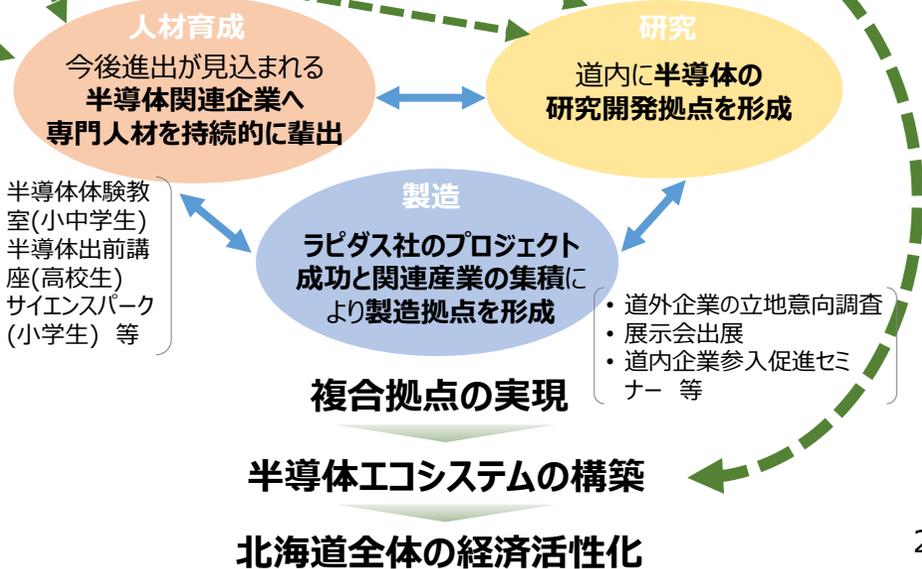
- 主要な製造工程（設計～前工程～後工程～評価）の実習が可能な「半導体プロトタイプングラボ」を北大に整備
- 実習プログラムを構築、道内他大学・高専にも開放
- 企業との共同研究の場としても活用

研究開発

- 道内半導体企業の課題・ニーズに応じた共同研究を実施（ラピダス、ミツミ電機等）
- 2nm半導体ユースケース開拓研究も実施（スマート農業、遠隔医療等）

産学官ネットワーク構築

- コーディネーターを配置し、道内の半導体企業や経済団体、支援機関、教育機関等が連携したネットワークを構築
- 各主体のニーズや課題を把握・調整することで、半導体関連産業への参入や産学連携を促進



北海道半導体エコシステム形成推進会議

- 道知事をトップに、実施主体5者とラピダス・ANICで構成
- 事業の実施方針や内容を決定

事業運営会議

- 北大総長を事業責任者として、各事業の進捗を管理
- 事業の円滑な執行のため、部会を設置

- 半導体体験教室(小中学生)
- 半導体出前講座(高校生)
- サイエンスパーク(小学生)等

- 道外企業の立地意向調査
- 展示会出展
- 道内企業参入促進セミナー等



半導体人材育成に向けた道内高等教育機関の連携体制について

- 道内の半導体人材育成体制の高度化を実現するため、北海道大学を拠点としたネットワークを構築
- 北海道大学を中心として、北海道半導体人材育成等推進協議会の構成機関である教育機関のうち、半導体に関する基礎教育を行っている大学・高専が連携して半導体教育共通プログラムを整備
- 北海道半導体人材育成等推進協議会とも密接に連携し、将来的には他教育機関へも半導体教育共通プログラムを展開



半導体教育共通プログラム検討機関

- 北海道大学（拠点）
- 室蘭工業大学
- 北見工業大学
- 千歳科学技術大学
- 北海学園大学
- 北海道科学大学
- 函館工業高等専門学校
- 苫小牧工業高等専門学校
- 釧路工業高等専門学校
- 旭川工業高等専門学校

横展開する教育プログラム（検討中）

- ✓ 講義
- ✓ 半導体プロトタイピングラボ実習

北海道半導体人材育成等推進協議会

取引活性化ワーキンググループ

第2回半導体・電子デバイス企業×道内企業ビジネスマッチング

- 道内半導体・電子デバイス企業5社（発注側）から幅広くニーズを募り、道内に事業所を有する企業（提案側）が技術・製品・サービスを提案する形式。域内取引の拡大や半導体・電子デバイス関連産業への新規参入支援を目的に、昨年度に引き続き2回目の開催（2025年2月3日、札幌市内）。
- 本年度は、提案企業の発掘及びマッチング精度の向上に向け、**事前に発注企業によるニーズの説明会及び本マッチング参加に必要なエントリーシートの記入講座を実施**
- 道内企業80社（前年比+2社）から163件（同比+47件）の提案があり、発注企業の選考の結果、23社が32商談を実施。**

半導体・電子デバイス企業（発注側）

(株)アムコー・テクノロジー・ジャパン

(株)SUMCO

デクセリアルズ フォトニクス ソリューションズ(株)

(株)デンソー北海道

ミツミ電機(株)

ステップアップ形式により、マッチング精度を向上

STEP01（10/28実施済み）

発注企業によるニーズ説明会

- 発注企業が事業内容とニーズの詳細を説明
- エントリーを検討する道内企業68社が参加
- 参加者による名刺交換会を実施

STEP02（10/31実施済み）

エントリーシート記入講座

- ジェグテック※の中小企業アドバイザーが発注企業に自社の強みが伝わるエントリーシートの記入方法を解説
- エントリーを検討する道内企業60社が参加

STEP03（2/3開催）

ビジネスマッチング

- 発注企業が事前にエントリーシートをもとに選考を行う予約面談制
- 1社対1社の対面によるクローズド面談
- 面談時間は25分

応募企業80社の概要

半導体・電子デバイス企業との取引実績

有り	無し	未回答	合計
51	28	1	80

本社等所在地

札幌市	江別市	千歳市	石狩市
49	1	4	2
北広島市	小樽市	室蘭市	苫小牧市
2	2	5	8
安平町	美唄市	函館市	北斗市
2	1	1	1
旭川市	帯広市		
1	1		

※ジェグテック：独立行政法人 中小基盤整備機構が運営するビジネスマッチングサイト



半導体・電子デバイス企業×道内企業ビジネスマッチング

応募数/商談数データ（応募数80社163件/商談数23社32件）

発注ニーズへの提案129件、商談32件

ニーズ概要	応募数	商談数	ニーズ概要	応募数	商談数	ニーズ概要	応募数	商談数
製造設備のメンテナンス	21	1	廃棄物処理	8	0	毒劇物・危険物製品などのストック	2	2
老朽化したPCのメンテナンス	5	4	薬液・薬品のリユース・リサイクル	9	0	CO2排出量削減に関する提案	14	1
製造設備のカスタマイズ	6	1	有価物のリユース・リサイクル	4	0	人材育成コンテンツ	7	3
治工具の製作	9	7	半導体集積回路の解析業務	3	4	工場施設関連の資格取得サポート	0	0
製品収納マガジン製作	0	0	真空成型プラスチックトレイ製作	9	4	工場施設/ビル管理の基礎学習	0	0
薬品・薬液・特殊ガスの調達	3	0	物流戦略の企画立案	13	3	職場環境改善のソリューション	16	2

フリー提案 34 件、商談 0 件

商談企業一覧（五十音順）

株式会社池田熱処理工業	一般財団法人 材料科学技術振興財団	大日本印刷株式会社	日本マーテック株式会社
エア・ウォーター物流株式会社	株式会社ジームテック	株式会社タマテック	株式会社フルヤ金属
HISホールディングス株式会社	シンセメック株式会社	TOPPAN株式会社東日本事業本部 北海道事業部	有限会社マイ・コント・ハウス函館
恵比寿システム株式会社	株式会社菅製作所	苫小牧埠頭株式会社	株式会社メトリック
株式会社キメラ	株式会社スリーハイ	日総工産株式会社	株式会社Leoline
極東高分子株式会社	セイノースーパーエクスプレス株式会社	日鉄テクノロジー株式会社	

北海道半導体物流検討会議 結果報告（詳細は【資料5】参照）

- 本州と陸続きになっていない北海道では、半導体製造に必要な産業用ガスや薬液等の危険物の輸送手段が船舶に限られる等、**半導体物流に関する「北海道固有の地域課題」が存在。**
- 今後、道内における半導体拠点の形成に向けて、ガス・薬液等危険物の輸送能力の増加をはじめとした物流効率化を実現していくには、**半導体物流に関わる各業界による「業界の垣根を越えた連携」**が必要。
- 半導体物流に関する**共通課題等の抽出・明確化**を図り、**解決策の検討・立案を目的とする関係者間協議の場**として本会議を設置。

※「北海道半導体人材育成等推進協議会」取引活性化ワーキンググループ内に、本検討会議を位置づけて設置・開催

座長

川上 敬 氏

- 北海道科学大学 学長
- 北海道半導体人材育成等推進協議会 取引活性化WG座長

開催概要（全3回）

第1回	日時：24年11月21日（木） 場所：NX-TECT Hokkaido（恵庭）
第2回	日時：25年2月28日（金） 場所：札幌第1合同庁舎
第3回	日時：25年3月7日（金）（本日） 場所：札幌市内会議室 ※北海道半導体人材育成等推進協議会 第2回本会議内

構成機関（各分野毎、企業名五十音順）

半導体関連企業

(株)アムコー・テク ノロジー・ジャパン	各種半導体製品の パッケージング
(株)SUMCO	半導体シリコン ウェーハ製造
デクセリアルズ フォトニクス ソリューションズ (株)	光通信用デバイス 製造
(株)デンソー北海道	車載用センサ製造
ミツミ電機(株)	アナログ半導体、 パワー半導体製造
Rapidus(株)	ロジック半導体製造

化学・産業ガス関連企業

エア・ウォーター 北海道・産業ガス (株)	産業ガス・製造販売
ジャパンマテリア ル(株)	特殊ガス販売・サー ビス
大陽日酸北海道 (株)	産業ガス・製造販売
長瀬産業(株)	化学系商社
北海ケミー(株)	薬液

物流関連企業

苫小牧埠頭(株)	倉庫業・港湾運 送業
日本通運(株)	国際物流
(株)日本エスコン	デベロッパー
(株)北海道日新	総合物流

北海道半導体物流検討会議 結果報告（詳細は【資料5】参照）

- 第1回会議（24年11月）では、各業界間における課題の共有化を進めた結果、半導体の安定供給や取引拡大等のためには地域内・企業間連携が不可欠との共通認識を確認。
- 第2回会議（25年2月開催）では、第1回及び以降の意見交換を通じて整理した「課題解決に向けた共同輸送・共同貯蔵等の取組方針」について各社合意を形成。
- 来年度以降も、民間企業・業界団体等による課題解決に向けた継続協議・実証・実装を後押し。その上では今回整理する取組方針や構成機関のみに限定せず、必要に応じてテーマや構成機関を拡大し、道内における半導体拠点の形成に貢献。

取組方針 1

危険物の類別の取りまとめ等の合理化

ガス・薬液・物流の各業界が連携し、「危険物の類別とりまとめ」をテーマに、共同輸送計画の立案・実証・実施に取り組む

取組手順（案）

- ① 内航船舶・鉄道の輸送キャパシティと類別ごとの需要量の洗い出し（各社秘密保持との両立）
- ② 類別の取りまとめによる合理化ポテンシャルの試算
- ③ 共同輸送計画の作成、実証・実施（各社間）

参加予定企業

エアウォーター北海道・産業ガス、ジャパンマテリアル、大陽日酸北海道、北海道日新、日本通運、Rapidus 等

取組方針 2

港湾等における高圧ガスのあるべき貯蔵方法に係る継続協議

港湾等における高圧ガスのあるべき貯蔵方法について、ガイドライン等の策定を通じた明確化を図るため、新たな検討体を新設し、関係者の継続協議を支援

取組手順（案）

- ① 港湾等における高圧ガスの貯蔵方法について、事業者・業界団体による現在の課題の洗い出し
- ② 検討・整理した貯蔵方法案について、行政等関係機関との擦り合わせ
- ③ 業界ガイドラインの策定等による基準の明確化

参加予定企業

エアウォーター北海道・産業ガス、ジャパンマテリアル、大陽日酸北海道、苫小牧埠頭、長瀬産業、北海道日新、日本通運、Rapidus 等
その他、高圧ガス保安法、港湾管理、消防法の観点も含む

サプライチェーンマップの更新

- 前回発表時（2024年7月）から**28社28事業所**増加し、**139社151事業所**を掲載。
- 「**半導体関連企業の新規立地拠点動向**」ページを新設。道内へ立地済み及び立地予定企業**46社**を掲載。

02 半導体関連企業の新規拠点設置動向（46社） ※2023年2月以降の新規拠点設置

※凡例

企業名	北海道内に拠点を設置した企業	企業名	北海道内に今後拠点を設置する予定の企業
仮名	掲載確認が取れていない企業、道内への拠点設置を非公表としている企業		

※順不同

千歳市（37社）

エーエスエムエル・ジャパン(株) 半導体製造装置	ラムリサーチ(同) 半導体製造装置	アクセリス・テクノロジー(株) 半導体製造装置	東京エレクトロンFE(株) 半導体製造装置メンテナンス
(株)SCREEN SPE サービス 半導体製造装置メンテナンス	内外テック(株)千歳出張所 半導体製造装置用部材の販売	内外エレクトロニクス株式会社千歳サービスセンター 異音検出及び巡回員の修理メンテナンス 半導体製造装置の保守メンテナンス	NDSソリューション(株) 半導体製造装置設置・保守・点検
KMT(株)千歳オフィス 半導体製造装置メンテナンス、人材派遣	ジャパンマテリアル(株) 供給配管設計施工、プラント運転及び設備管理	大陽日酸(株) 産業ガス製造・供給、ガス関連設備工事	長瀬産業(株) 化学系専門商社
一般社団法人材料科学技術振興財団 受託分析サービス	(株)フジワーク 構内製造誘負業務、人材派遣	パーソルテンプスタッフ(株)千歳オフィス 人材派遣・人材紹介	NTTイノベティブデバイス(株) 光電融合デバイスの開発・製造・販売
NTTコミュニケーションズ(株) ICTサービス・ソリューション事業、 国際通信事業、およびそれに関する事業	(株)アルファス計装 千歳事業所 工場監視設備、産業空調自動制御設備	クリーンテクノ(株)千歳営業所 塩ビ製(PVC)局所排気ダクトの製造・据付・メンテナンス	
(株)フルヤ金属 熱電対用石英保護管製造、および石英器具加工修理	(株)テクノウェル 配管システム設計・製造・工事	能美防災(株) 防災設備製造・販売	伊藤忠商事(株) 総合商社（物流倉庫新設）
鹿島建設(株) 総合建設会社（物流倉庫開設）	シービーアールイー(株) (千歳ヤマセミ特定目的会社) 事業用不動産サービス（物流倉庫開設）	(株)日本エスコ 総合デベロッパー（物流倉庫開設）	
A社 半導体研究	B社 半導体製造装置	C社 半導体製造装置	D社 半導体製造装置
F社 半導体製造装置メンテナンス	G社 半導体製造装置メンテナンス	H社 半導体工場インフラ整備	I社 半導体工場設備
J社 空調設備	K社 配管設備	L社 総合物流	

苫小牧市（5社）

日本イー・エス・エム(株) 半導体製造装置	(株)TFエンジニアリング (テクノフレックスグループ) 真空配管加工製造・施工工事	(株)木村管工 配管加工・製作、施工工事	(株)ダイセキ 廃液・汚泥の処理・リサイクル
(株)MITAKE 貨物輸送（物流倉庫新設）			

恵庭市（2社）

日本通運(株) 総合物流（物流倉庫開設）	M社 半導体製造装置	札幌市（2社）	(株)スリーハイ 産業用電気ヒーター・湿度調節器、 湿度センサー・断熱材の製造、販売
		日本マーテック(株) 受託分析サービス	

取引活性化WG 2025年度を取組方針（案）

取組方針案1.「部会（仮称）」の設置

個別テーマを設定した「部会（仮称）」を新設、協議会の企業同士がより交流しやすい環境を提供

部会（仮称）テーマのイメージ

1

新規立地企業と道内企業の交流会等

製造メーカーをターゲットに活動してきたが、道外からの**新規立地企業や設計企業等**にもターゲットを拡大。各ターゲット（道内半導体等製造企業・新規立地企業・道内半導体設計企業等）による交流会などを通じて、取引の拡大を推進。

2

道内提案側企業の参入支援

半導体関連企業との取引拡大を目指す**地域企業の発掘、セミナーや勉強会による技術力・提案力の強化**を検討。製造設備のメンテナンス等、**ビジネスマッチングでニーズが高いものの、商談が少なかった項目**をテーマに支援。

3

半導体物流

北海道半導体物流会議を2025年度も継続して複数回開催。
物流関連分野のマッチング・取引拡大を推進。

取組方針案2.他協議会等との「広域連携」の拡大

他地域との広域連携の拡大により、新たなプログラムを拡充

プログラムのイメージ

1

合同セミナーの開催

他協議会とセミナーを共催
地域情報・ノウハウのアクセシビリティを向上

2

道外企業との交流機会の創出

他協議会の参画企業との交流
ミートアップイベントの開催